

(様式2)新規評価シート

建設部

道路建設課

事業種類		主要な道路の整備		事業名		県単道路改築			
市町村名		長野市		ふりがな 箇所名 いちこみねいなりやません (一)小峰稲荷山線		事業年度 (完了年度は見込み)		26年度～ 31年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)		財源内訳(千円)			
	全体	道路改築工 L=350m W=4.0(6.0)m		35,000		国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	測量設計 1式		5,000				4,500	500
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～ 4,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台未満		0	0.3	12
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input type="checkbox"/> 代替となる道路がある		15			
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> 駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線		<input type="checkbox"/> 左記に該当しない	15		
			<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所 でない		0			
			<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路 ではない		0			
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満 (幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)		10		
	自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る		<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分 であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない		0			
	小計					40			
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が され確実性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮が されているが確実性 が低い		<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をして いない	30	0.1	6
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又 は、振興山村、積雪地 域、過疎地域、地震防 災対策強化地域、観光 圏整備実施計画認定地 域に位置付けられてい る		<input type="checkbox"/> 特別な位置づけは ない	30			
小計					60				
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果が得られる)		<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	25	0.2	15	
	事業効果の早期発現 (事業期間)	<input type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内		<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上	25			
	コスト削減	<input type="checkbox"/> 全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。		<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	25			
	小計					75			
緊急性	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる		<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険がない	50	0.2	10	
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)		<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に 関係ない道路	0			
	小計					50			
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望		<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35	0.2	18	
	事業情報の共有	<input checked="" type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input type="checkbox"/> 関係者中心に周知		<input type="checkbox"/> 特に周知していない	35			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に 直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見 を計画策定に反映		<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映 していない	20			
	小計					90			
費用対効果(B/C)		2.6		評価の合計				61	
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	当路線は、信州新町高は高萩地区、平清水地区、成上地区が信州新町市街へ出るための唯一の道路であり、地域の生活道路となっている。しかしながら当該箇所は幅員狭小でありかつ、見通しが悪い(R=8m)であるため、交通事故の危険性が高く、生活の支障となっている。							
	地域からの要望経緯	信更大岡信州新町間期成同盟会より、毎年強い要望がされている。(H25年度:H25年7月29日、H25年10月25日)							
	事業説明等の経緯	事業採択後に説明会を実施予定。(事業情報については、区長から地区住民へ広く周知している。)							
	環境・景観への配慮 項目	盛土へのコンクリート構造物は必要最小限に抑えるなど、設計時に配慮を図る予定。							
	他事業・プロジェクトと の関連	なし							
	特記事項								
地域の合意形成		<input checked="" type="checkbox"/> 全員賛成		<input type="checkbox"/> 概ね賛成		<input type="checkbox"/> 過半数賛成		<input type="checkbox"/> 動向不明	
部意見	地元要望が強く、生活道路の安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。			行政改革課 意見	バス路線であることから、必要性が認められる。				